

## 「伊集院中学校の郡地区棒踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

日置市立伊集院中学校

### 2 学年・人数

1年生 4人・2年生 7人・3年生 5人（計16人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

令和4年10月17日（月）～10月27日（木） 16時30分～17時30分

（2階 美魂ホール）

令和4年10月26日（水） 16時00分～17時00分 リハーサル（体育館）

#### (2) 発表の日時・場所

令和4年10月28日（金） 11時20分～ 文化祭（体育館）

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

#### (1) 名称

郡地区棒踊り（こおりちくぼうおどり）

#### (2) 由来

明確ではないが、島津の藩主が棒術を踊りに仕組んで、非常時に備え、農民の子弟に踊らせたとか、また、島津義弘の朝鮮の役での凱旋祝いに農民が踊ったものであるとか、いろいろな説がある。薩摩藩の棒踊りは伊勢神宮のお田植え祭に、農民たちが早乙女を慰めるために、また、五穀豊穡を祈って踊った棒の踊りをまねたものであろうという。

#### (3) 構成等

① 六尺棒と三尺棒，2列4人一組

② 三尺棒と鎌，3列，両側に三尺棒と中に鎌の6人一組

先頭を高いシベ竿を持った数人が先導して入場する。

踊っている間は踊りに合わせてシベ竿を突いている。

### 5 保存会や地域との連携の具体

本来，5月5日に九玉神社に五穀豊穡，家内招福を祈願し奉納した後，郡地区の宮脇・中福良・立野・平古・郡下・郡上・郡内の家々を踊って回り，夕方までかかる。しかし，令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大防止のため，やむなく活動を制限せざるを得ない状況を保存会の方々から聞いた。その中で，少子化による参加者の減少や高齢化による指導者の不足など伝統芸能を継承していくための課題も伝えられた。

そこで，本校区内で伝承されてきた伝統芸能を全生徒，全職員に知ってもらうために文化祭での演舞を依頼したところ，地域の保存会の協力を得て実現することができた。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

日置市では、平成29年度から「ひおきふるさと教育（ひおき学）」を実施している。この本市独自の教育は、小学校から中学校までの系統的な学習計画を成長の過程に基づいて実践することが求められる。1学年では郷土の史跡だけでなく、伝統芸能等の特色をまとめ、その内容を文化祭で発表している。棒踊りの対象は中学生以上なので、この活動を認識していない生徒も多い。そこで令和3・4年度は郡地区の保存会の協力をいただき、実演することにした。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



5月5日 郡地区での様子①



5月5日 郡地区での様子②



10月28日 文化祭の様子①



10月28日 文化祭の様子②

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【参加生徒】

憧れていた棒踊りをこれからもがんばっていききたい。そして、これからも地域の人たちが喜んでくれるような踊りを続けていきたい。

### 【教職員】

地域の方々に協力を求めた時に快く引き受けてくださった。また教えていただいた内容を真剣に聞き入れる生徒の姿があり、交流することの楽しさを共に感じる事ができていた。

### 【保存会】

子どもたちのがんばる姿に元気をもらうことができた。一時期、途絶えてしまった棒踊りだが、青年団によって復活された甲斐があった。